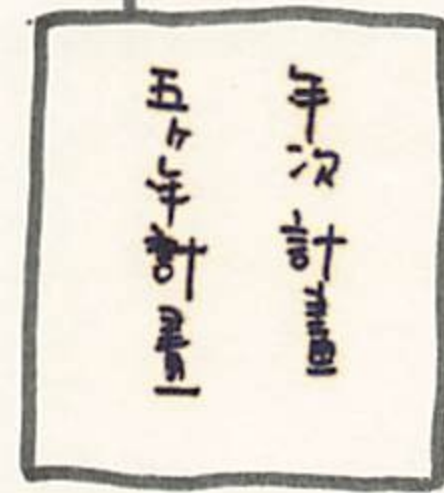
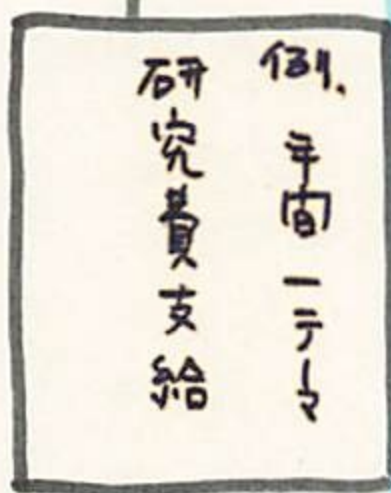
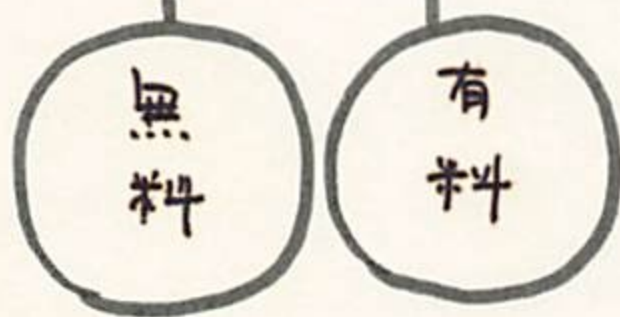
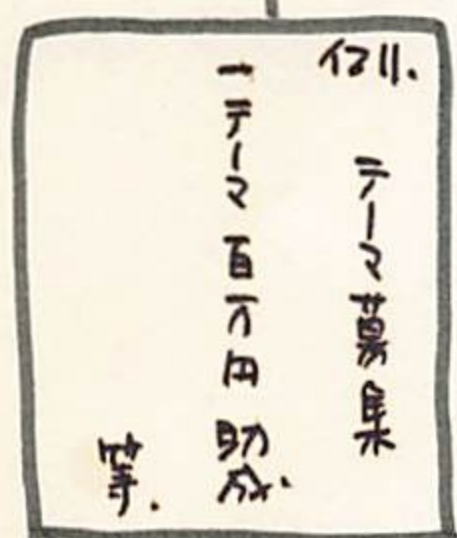
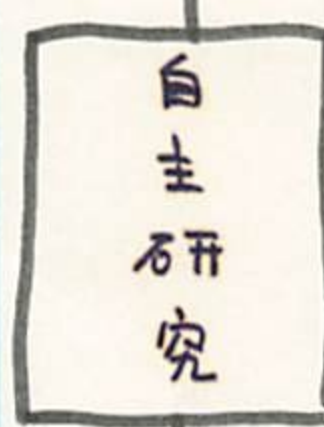
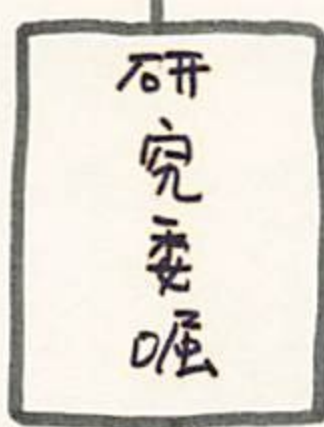
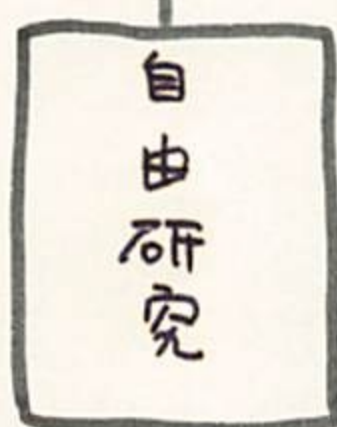
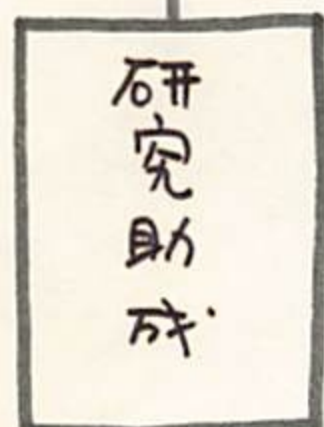
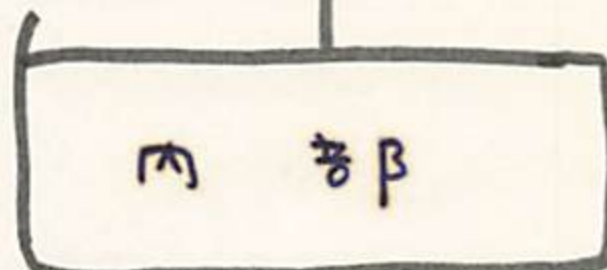
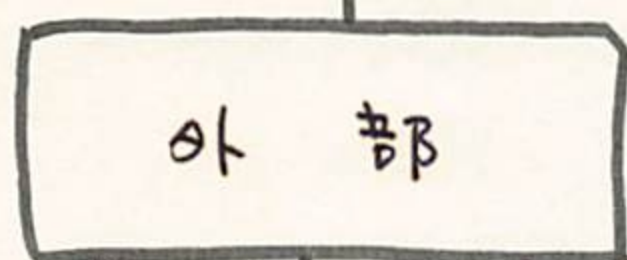
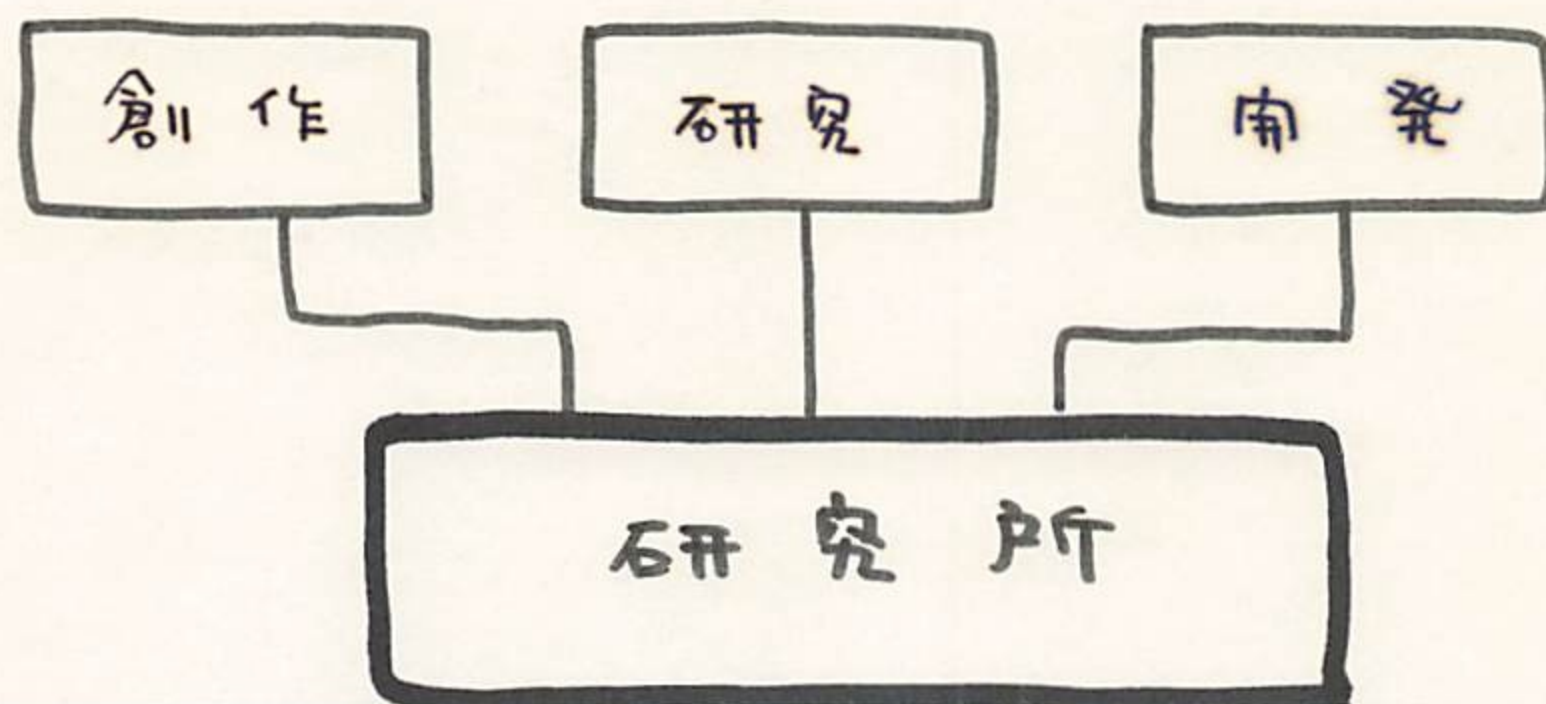
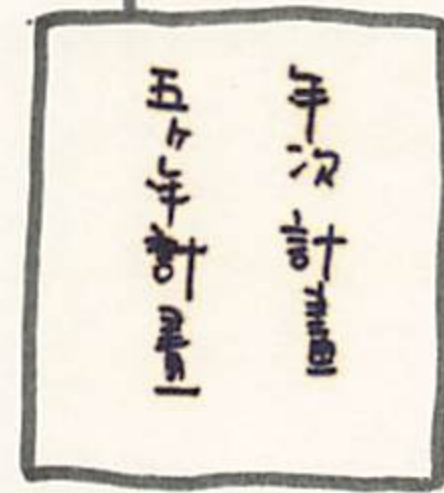
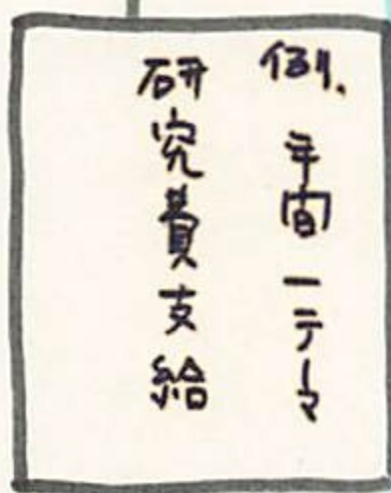
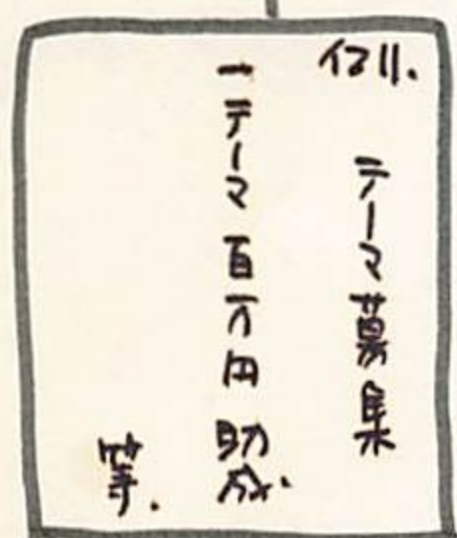
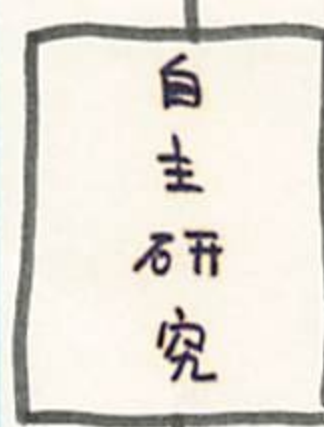
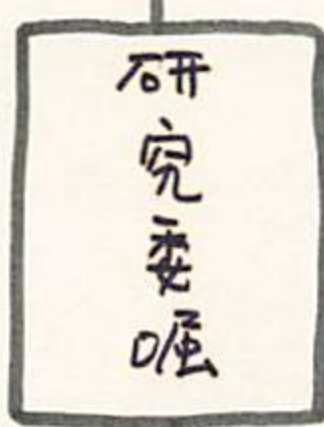
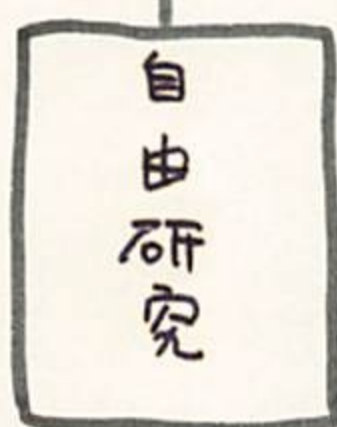
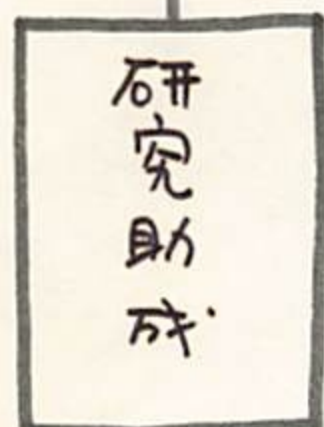
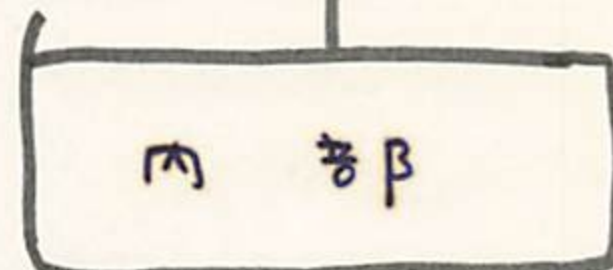
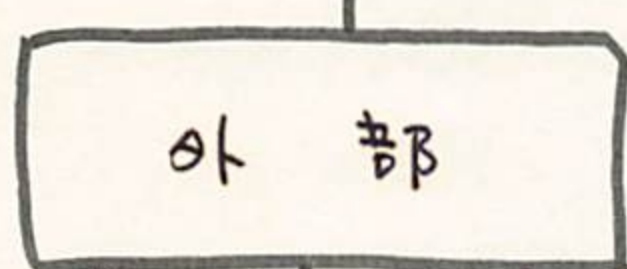
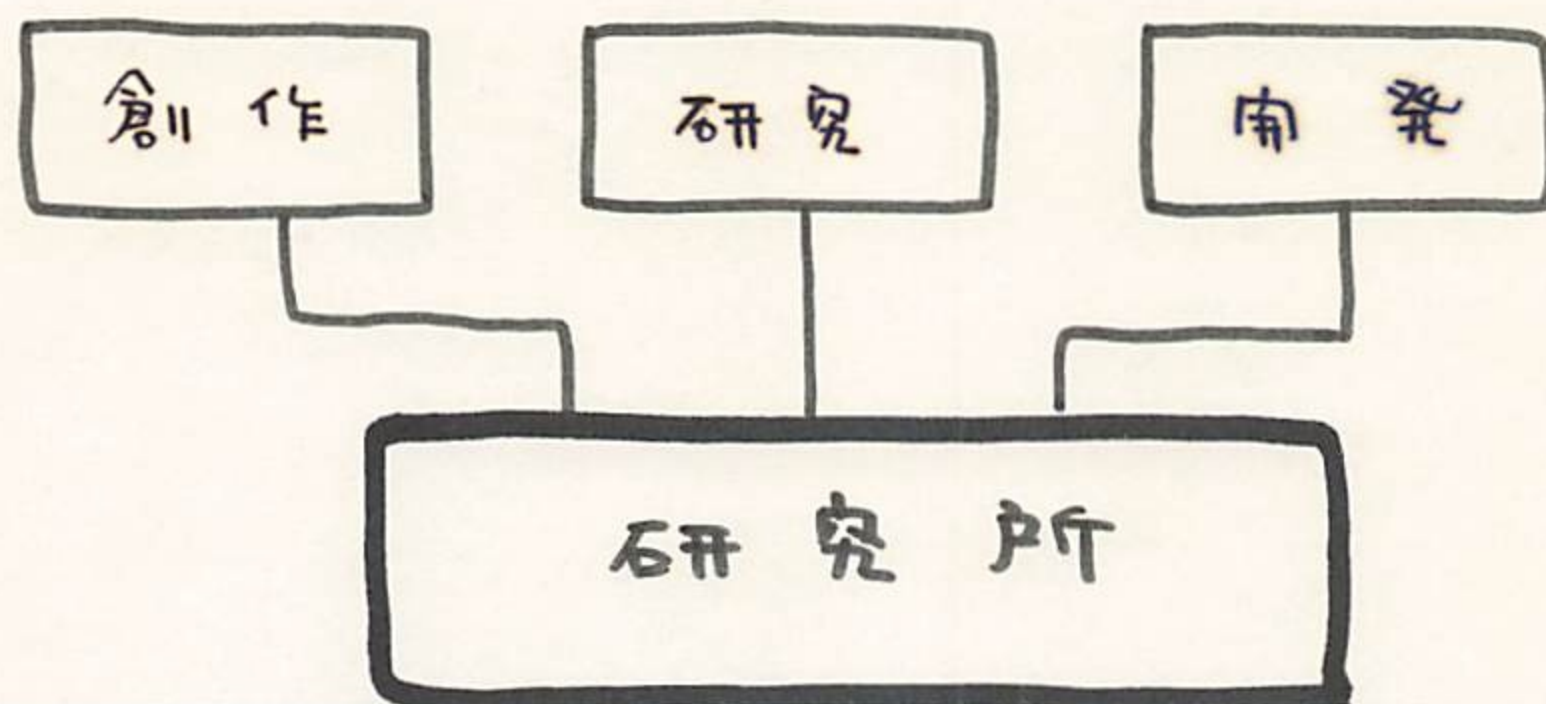






初期 投資 予定

◆ システム 関係

コンピュータ	FACOM U-200 (予定) 及び 附属施設	55,000,000. [¥]
関連施設	音響, 映像, 等 システム	30,000,000.
		(10,000,000.)
		85,000,000.
		(65,000,000.)

◆ 空間 関係

借室 契約料等	1,000,000.
内装, 家具, 事務用品等	2,000,000.
	3,000,000.

総計 概算

88,000,000.
(68,000,000)

COMPUTER SALON

6-2

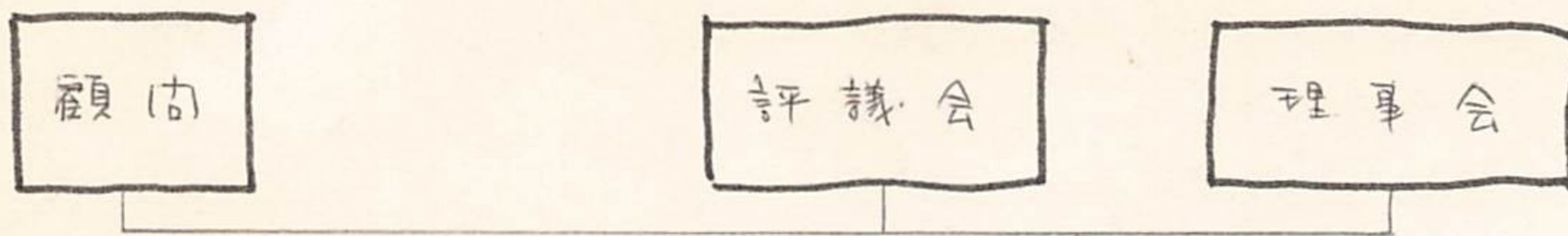
初期投資

空内 (6-2)

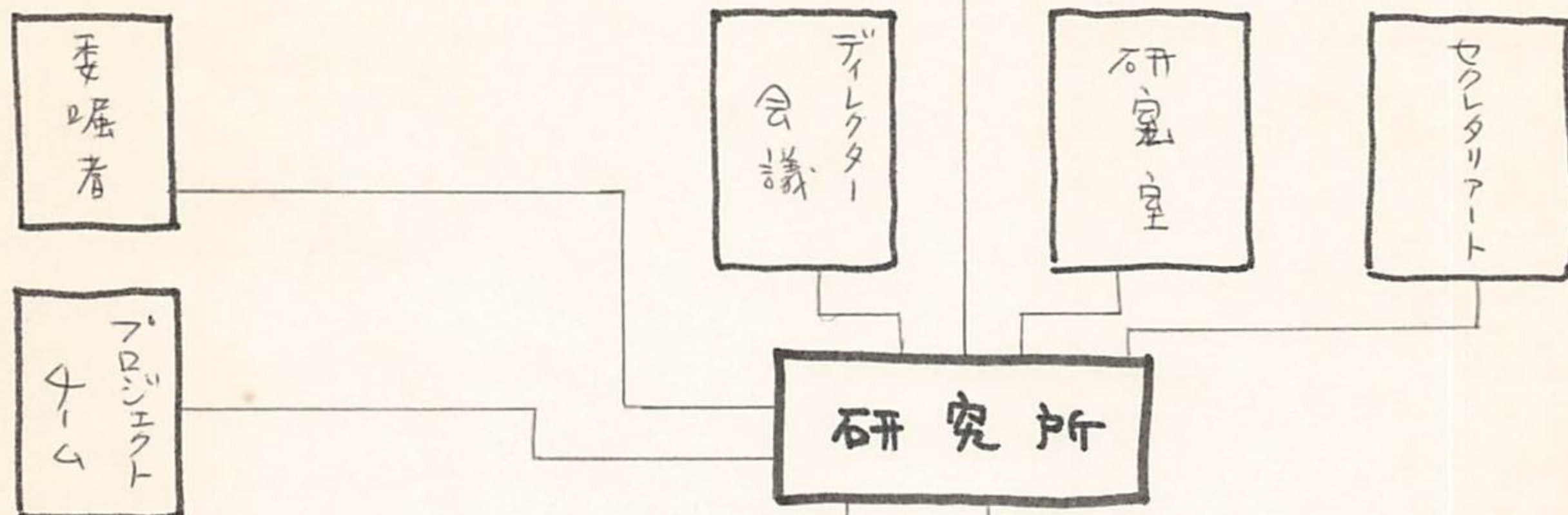
system [material
空内
内装
家具 No.

	月 間	年 間
人件費	1,800,000	21,600,000
事務費		1,000,000
空内借用費	] 200,000	2,400,000
空内維持費		
研究費		
周知費		2,000,000
活動費		
マシンシステム維持費 (TSS)	100,000	
マテリアル費	100,000	1,200,000
資材費 購入費		
整理費		1,000,000
公開費		
広報費		
助成	100,000	1,200,000
計	2,500,000	30,000,000

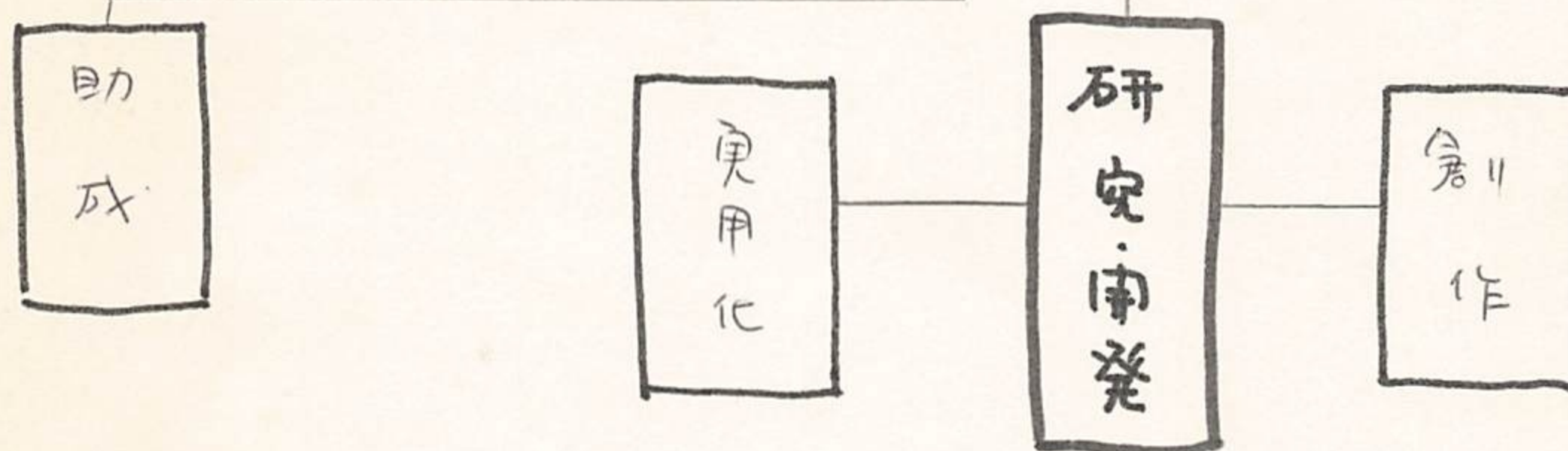
<コルタ 6000TA (x14) 1200TA (マテリアル)>



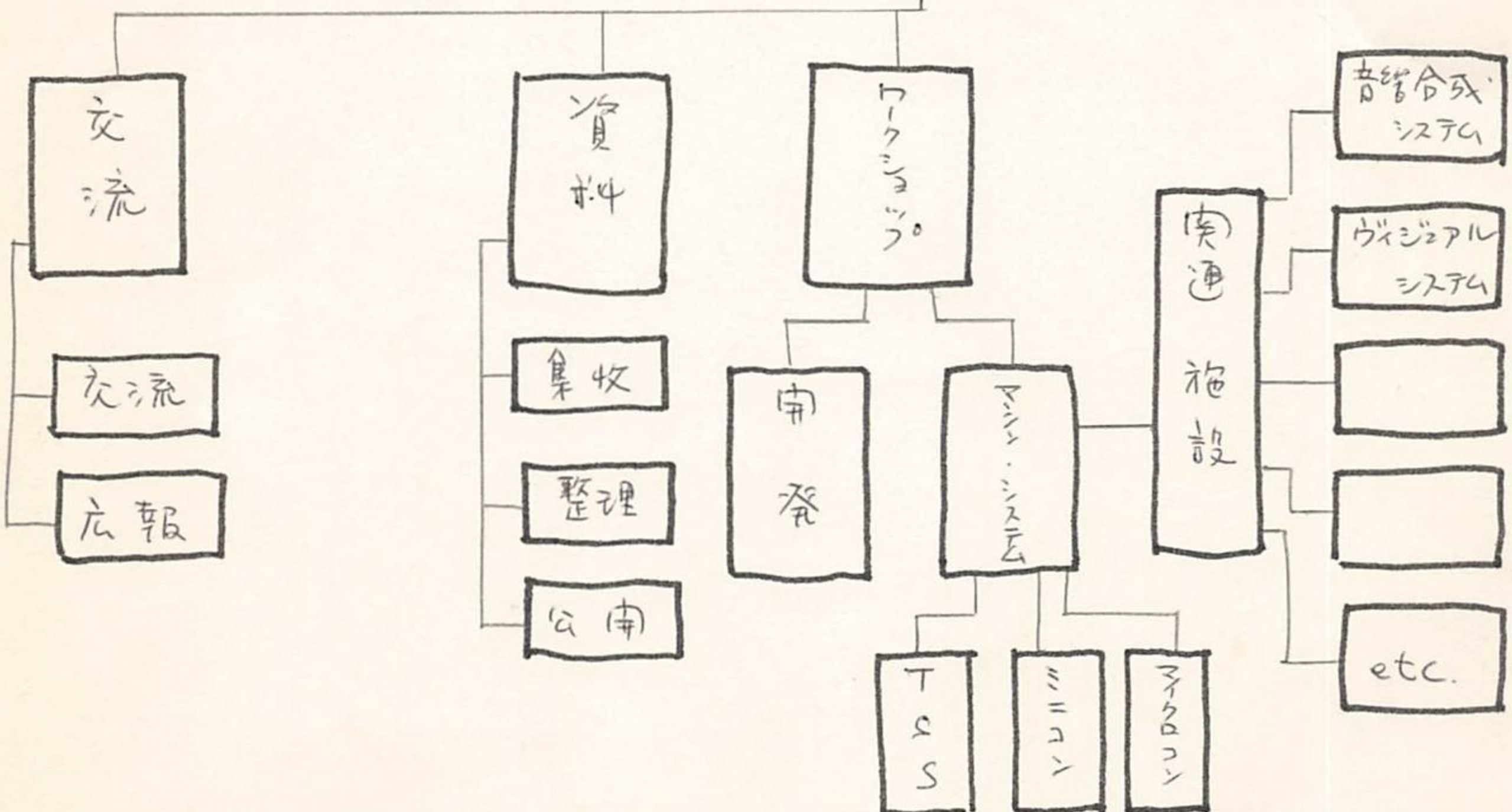
ホソライズ機構



研究所 組織



活動内容



活動 組織 体系

コンピュータ・アート・センター 活動内容

- I 研究 コンピュータと芸術の 出会い領域 として、単に
既存の芸術と既存のコンピュータ技術の 相互的
適用に留まらず、新しい文化的表現形態として
社会的に 効果を 発する方向へ コンピュータ・アート
を 活用するための 基礎 及び 応用 の 研究 を
行なう。
- II 創作 Iの研究と相まって その 具体化 及び 研究への フィード
バック を 考えながら 多領域の 創作 を 行なう。
- III 開発 I IIの目的を達するため、必要な 理論、
プログラム 及び システム の 開発 を 行なう。
- IV 資料センター I II IIIの 活動に 必要な 資料を 広く 集め、又
一般の研究を 援ける ために 公開し 二の 分野の
振興を はかる。
- V セミナー、レクチャ、シンポジウム 等の 開催
この分野の 振興のため、専門家から 一般人まで
色々な 対象への 働きかけ を 行なう。
- VI コンピュータアート展の 制作

